

2019年10月30日

各 位

会 社 名 アンリツ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 濱田 宏一
 (コード：6754、東証第1部)
 問合せ先 取締役 専務執行役員 CFO 窪田 顕文
 (TEL. 046 - 296 - 6507)

2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年10月30日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月25日に開示した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想について、修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2020年3月期の連結業績予想数値の修正（IFRS・2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者 に帰属する 当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	102,000	10,000	10,000	7,500	7,500	54.60
今 回 修 正 予 想 (B)	103,000	11,500	11,500	8,500	8,500	61.87
増 減 額 (B-A)	1,000	1,500	1,500	1,000	1,000	—
増 減 率 (%)	1.0	15.0	15.0	13.3	13.3	—
(参考) 前 期 実 績 (2019年3月期)	99,659	11,246	11,362	8,991	8,956	65.20

(参考) 2020年3月期 期初想定為替レート：1米ドル=105円
 下期想定為替レート：1米ドル=105円

2. 修正の理由

主力の計測事業において、5G関連のモバイル市場向け開発用計測器需要が順調に推移しています。特にアジア地域において、5Gの開発需要が期初の計画を上回る見込みであることから、通期の業績予想を修正します。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間22.00円を予定しております。

(参考)

セグメント別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	102,000	103,000	1,000	1.0	99,659
計測	69,000	70,000	1,000	1.4	68,168
P Q A	24,500	24,500	—	—	23,074
その他	8,500	8,500	—	—	8,416

セグメント別営業利益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
営業利益	10,000	11,500	1,500	15.0	11,246
計測	8,000	9,500	1,500	18.8	9,413
P Q A	2,000	2,000	—	—	1,609
その他	900	900	—	—	1,145
調整額	△900	△900	—	—	△921

地域別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	102,000	103,000	1,000	1.0	99,659
日本	33,500	33,500	—	—	32,183
海外	68,500	69,500	1,000	1.5	67,475
米州	26,500	26,500	—	—	26,429
E M E A	12,500	11,000	△1,500	△12.0	12,170
アジア他	29,500	32,000	2,500	8.5	28,876

(注) EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。